

| | |
|------------------|---|
| Title | 寄贈交換圖書雑誌目録 |
| Sub Title | |
| Author | |
| Publisher | 三田史学会 |
| Publication year | 1928 |
| Jtitle | 史学 Vol.7, No.3 (1928. 11) ,p.152(464)- 153(465) |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | |
| Genre | |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19281100-0152 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

あり。延文、永徳、明徳、嘉吉等の銘あり。此の他、觀音堂の墓山の墓地には二個の大なる板碑あり、共に文祿三年銘のものにして、何れも縦(地上)四尺七寸餘、横一は三尺六寸餘他は四尺一寸餘のものなり。

斯て縣門の逸足楫取(伊能)魚彦翁の墓に詣て、最後に名高き伊能忠敬翁の墓に謁す。その墓石は質素なるものにて、翁の生前をしのぶに十分なるべく、その不朽の偉業を懐ひては、しばし墓前を去る能はざりき。

午後零時四十分、觀福寺を辭し、佐原町にて中食を認めし後、午後一時半、伊能家を訪問す。當主三郎右衛門氏は忠敬翁五代の裔に當る。同家に於て、忠敬翁が沿海陸地測量等に用ひし諸器具、特に半圓方位盤、量程車、羅織等、及び測量日記、地圖、地圖製作に當りて翁に助力せし久保木清淵翁の讚ある忠敬翁の書像、「贈間宮倫宗序 文化辛未仲冬伊能忠敬」の軸、及び對數表等を拜見するを得たり。前述の巧妙なる諸器具を見ては、吾が忠敬翁の沿海實測の事業が江戸時代科學の偉績として不朽のものたること頷かれ、明治十六年二月廿七日期延より特旨を以て正四位を贈られしも當に然る可きことと思はるるなり。

かくて伊能家の厚意を謝して辭去し、更に佐原町の舊家清宮家を訪問す。突然の訪問にもかかはらず、當主利右衛門氏等快く迎接せられ、江戸末期に於ける國學者にして、經濟地理等にも詳しくかりし祖父秀堅翁の遺墨著書等々觀覽せしめらる。新撰年表、三條餘論、正氣帖、金石隨得集、下總國舊事考、舟橋社藏文書、成田參詣記、武藏近郊圖、集古十種、等數多し。

午後四時半同家を辭去す。
以上にて此の行見學の全部を了り、佐原驛午後四時五十分發の汽車に乗り、同八時過ぎ兩國橋驛に着し、解散す。
最後に、此の見學旅行に際して前記諸氏の寄せられたる御好意に對して深く感謝する次第なり。(大塚久雄記)

密贈交換圖書雜誌目錄

- 滋賀縣史 自第一卷至第六卷 六册 滋賀縣 內務部
- 石川縣天然紀念物調査報告四 石川 縣
- 國體眞義 杉浦重剛、白鳥庫吉、松宮春一郎等共著 世界文庫刊行會
- 老莊思想講話 安岡正篤著(金雞文叢第四) 金雞 學 院
- 農士道概論 菅原兵治著(金雞文叢第五) 同 上
- 靜かなる 萊根譚新釋上(聖賢遺書新釋叢刊四) 同 上
- 史學雜誌三九の七、八、九。 史 學 會
- 史林一三の三。 史 學 會
- 史學會々報七。 史 學 研 究 會
- 歷史地理五二の一、二、三、四。 神宮皇學館史學會
- 歷史と地理二三の一、二三、四。 日本歷史地理學會
- 歷史教育三の四、五六。 歷史地理同友會
- 土佐史談二三、二四。 歷史教育研究會
- 筑紫史談四四。 土佐史談會
- 備後史談四の七、八、九、十。 筑紫史談會
- 名古屋史談會誌二の五。 備後郷土史會
- 名古屋史談會 名古屋史談會

山陰史蹟四の一。

大谷大學國史研究會紀要一。

國史と系譜五の二、三。

國史教授資料第三輯

國學院雜誌三四の七、八、九、一〇。

國民經濟雜誌四五の一、二、三、四。

民族三の五、六。

民族研究一、二、三、四、五、六、七、八。

人類學雜誌四三の八、九、十。附録五。

考古學雜誌一八の七、八、九、一〇。

考古學研究二の三、四。

旅と傳説八。

神社協會雜誌二七の七、八、九、一〇。

風俗研究九八、九九、一〇〇、一〇一。

藝文一九の七、八、九、一〇。

東洋文化五〇、五一、五二、五三。

日本文化三〇、三一、三二、三三。

上毛及上毛人 自第一號至第三六號
自第三九號至第一三八號

刀劍と歴史二一一、二一二。

刀劍研究一四の七、八、九、一〇。

かたな三二八、三二九。

密教研究三〇。

龍谷大學論叢二八〇、二八一。

山陰史蹟協會

大谷大學國史研究會

立命館大學出版部

名古屋溫故會

國學院大學

神戸高等商業學校

民族發行所

日本民俗研究會

東京人類學會

考古學會

考古學研究會

三元社

神社協會

風俗研究社會

京都文學會

東洋文化學會

里見日本文化學研究所

上毛郷土史研究會

羽澤文庫

南人社

中央刀劍會

高野山大學密教研究會

臨濟宗大學禪學研究會

龍谷大學論叢社

觀想五〇、五一、五二、五三。

朝鮮佛教五一、五二、五三。

江戸軟派研究二五。別一、別二。

松本二。

東洋大學圖書館

朝鮮佛教社

江戸軟派研究發行所

松本書店